

八千代市産業振興審議会概要

- 1 会議名 八千代市産業振興審議会
- 2 日時 令和2年9月25日(金) 午前10時から11時38分まで
- 3 場所 福祉センター4階 第3・第4会議室
- 4 議題 (1) 産業振興について
(2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う現状について
(3) 次期産業振興ビジョンについて
- 5 出席者 **【委員】** 八千代商工会議所副会頭 飯田明彦
八千代商工会議所専務理事 田中宏行
八千代市工場協議会副会長 浅野正幸
八千代市園芸協会会長 土井智
八千代市畜産協会会長 高橋秀行
秀明大学観光ビジネス学部長・教授 市川友英
市 民 委 員 橋山弘
【事務局】 経済環境部長 石川一俊
商工観光課長 渡邊久貢
農政課長 余田慎也
商工観光課主査 蛭間 寛
商工観光課主査 佐藤裕次
商工観光課主事 黒澤雄大
- 6 公開又は非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人(定員3人)

事務局（司会：佐藤主査，括弧内は各事務局職員）

定刻となりました。

私，本日，司会を務めさせていただきます，佐藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず，はじめにお断りさせていただきますが，この審議会は「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」の規定によりまして，公開の会議となっております。事前に会議の日程等を公表し，傍聴することができることになっております。また，会議資料，会議録等についても公開の対象となるため，録音させていただきますので，ご了承の程お願いいたします。

ここで，皆様にお知らせがございます。当審議会の商工業団体の委員であり，八千代市商店会連合会の会長でありました山崎行夫様におかれましては，病氣療養中のところ薬石の効なく，令和2年4月13日にご逝去されました。

山崎様におかれましては，村上中央商店街振興組合で，平成3年の設立当初から長年にわたり代表理事を務めてこられました。当審議会でも，平成26年から，商店会連合会の会長として審議会の委員を務めてこられ，昨年の審議会では，農商工観連携について積極的なご意見をいただき，これからも多くのご意見を賜りたいと考えておりました。ここに故人のご冥福をお祈りし，謹んでお知らせいたします。

続きまして，本日配布いたしました資料の確認をお願いいたします。

- ① 次第（片面で1枚）
- ② 席次表（片面で1枚）
- ③ リーフレット（八千代ふるさと親子まつ等 計8点）

いかがでしょうか。

また，一点ご説明いたします。本日，皆様の前にマイクシステムがございます。シルバーのボタンを押しますと，マイクの先が赤く光りますので，そのままお話ししてください。話し終わりましたらボタンを押す必要はありません。次にお話しする方が，同じようにシルバーのボタンを押すと，前にお話した方のマイクの赤い光は消えます。

また，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，発言の際はマスクを着用したままをお願いいたします。皆様のご協力をお願いいたします。

続きまして，本日の審議会は，今年度初めての会議となりますことから，恐縮ですが，事務局の紹介をさせていただきます。

経済環境部長の石川でございます。（石川です。よろしく申し上げます。）

商工観光課長兼観光推進室長の渡邊でございます。（渡邊です。よろしく申し上げます。）

農政課長の余田でございます。（余田と申します。よろしく申し上げます。）

商工観光課主査の蛭間でございます。(蛭間でございます。よろしくお願いいたします。)

同じく黒澤主事でございます。(黒澤と申します。よろしくお願いいたします。)

最後になりますが、改めまして、商工観光課の佐藤でございます。よろしくお願いいたします。

続きまして、議事に入ります前に、本日の出席委員は7名であります。お手元の資料5、八千代市産業振興審議会規則第4条の規定によりまして、半数以上の議員が出席していますので、本日の会議は成立となります。事務局からの説明は以上となります。

では、飯田会長よろしくお願いいたします。

開 会

飯田会長

それでは、ただいまより、令和2年度第1回八千代市産業振興審議会を開会いたします。

先程事務局からお知らせがありましたとおり、八千代市商店会連合会の会長の山崎行夫様が、4月にお亡くなりになりました。

山崎様と私は、商工会議所の関係で昔からお付き合いがあり、私の父が同じ年齢ということもあり、よくお声をかけて頂いておりました。昨年この審議会におきましても、商工業と農業・観光の連携について、活発なご意見をいただいておりますので大変残念な気持ちです。ご冥福をお祈りいたします。

では、はじめに、議題1「八千代市の産業振興について」、事務局から説明をお願いします。

事務局（渡邊課長）

産業振興の取組につきまして、今年度、商工観光課長と観光推進室長の兼務となりましたので、商工業と観光の取り組みについて、私から一括して説明をさせていただきます。失礼して着座にて説明させていただきます。

はじめに、商工業についてご説明いたします。

本年3月に開催を予定しておりました本審議会について、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止としたところでございますが、飲食店をはじめとして幅広い業種に新型コロナウイルス感染症の影響が広がり、本市におきましても、国・県などの各種対策に呼応する形で、中小企業対策を行っておりますので、この対策の実施概要につきましてご説明いたします。

まずは、中小企業者の資金繰り対策といたしまして、新型コロナウイルス感染

症の影響に対する金融支援策として、セーフティネット資金融資に必要となる、市長の認定書発行手続きの迅速化に努めてまいりました。

信用保証協会の保証として、一般保証とは別枠で融資額の保証がされるため、金融機関からの融資が受けやすくなるもので、8月末現在で、前年同月比20%以上の売上高等の減少が要件となるセーフティネット4号を428件、前年同月比5%以上の売上高等の減少が要件となるセーフティネット5号を41件、前年同月比15%以上の売上高減少が要件となる危機関連保証145件の認定を行っております。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、経営の安定に支障が生じている中小企業者等に対する支援として「八千代市中小企業者等経営支援金」を支給しております。

具体的には、今後も事業を継続する意思があり、本年1月から8月の売上げが前年同月比20%以上減少した、市内に事業所のある中小企業者等に対して、1事業者あたり15万円を支給するもので、5月28日から申請を開始し、8月末現在で、約2,200事業者からの申請を受け付けております。

八千代商工会議所の協力のもと、社会保険労務士や中小企業診断士などの専門家による、国・県・市の助成制度などについての相談や、申請書の作成支援を行う無料の臨時相談窓口を設置し、8月末現在で、231件のサポートを実施しております。

今後の支援策といたしまして、現在開会中の市議会に予算案を上程しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、打撃を受けている地域経済を支援するにあたりまして、感染症拡大のリスクを考慮した、「新しい生活様式」に対応した中小企業等支援策を考えております。

具体的には、市内の対象店舗及び施設においてQRコードを使ったキャッシュレス決済で買い物をされた方に対し、ポイントを付与することで、消費喚起を行うとともに、客と店員の接触を極力減らすことによる感染症対策を同時に行うもので、本年11月から来年2月までの実施を予定しております。

引き続きまして、観光についてご説明いたします。

本市における観光施策の推進につきましては、これまで、八千代市第4次総合計画に基づき、三大祭への支援や観光資源の発掘、バラや新川千本桜等の観光資源のアピールに取り組んでまいりました。

そうした中、今年度は、八千代ふるさと親子祭や八千代どーんと祭、源右衛門祭などのイベントにつきましては、ご案内のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民や関係者、来場者の安全面を考慮し、中止となったところでございます。

お手元にプレスリリースを配布していますが、本年4月2日に、市と京成バラ

園芸株式会社及び秀明大学観光ビジネス学部との間で、八千代市における観光振興に関する連携協定を締結いたしました。

観光分野において、相互の人的・物的資源を有効活用し、市の観光振興に寄与することを目的としたものとなっております。

次に、前回会議でお知らせしましたが、観光振興を計画的に推進していくための基本的方針と施策を定める計画でございます、(仮称)八千代市観光振興計画につきまして、今年度末の策定を予定しておりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、東京オリンピック・パラリンピックの延期、訪日観光客前年比99.9%減、外出自粛による観光産業への影響、観光に対する市民感情の変化、また、市民から意見等をいただく機会が不十分になること、新たな時代を見据えた計画を策定することが望ましいことなどから、令和3年度までの2年間かけて計画策定することについて、8月に開催しました観光振興懇談会において共通理解を得たところでございます。

国が行うGo Toトラベルの実施状況なども注視してまいりたいと考えておりますが、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、昨年度来実施しております観光資源調査を引き続き実施するとともに、観光に関わる組織・団体へのヒアリングや市民アンケートなどの各種調査、マーケティング調査としてモニターツアーの実施を通じ、基礎資料の収集を進めてまいります。

観光振興懇談会の開催と並行してワークショップの実施、パブリックコメントを経まして、来年度の観光振興計画策定に向け、準備してまいりたいと考えております。

今後の観光施策の推進にあたりましては、近隣市との連携を図りながら、地域の観光資源の魅力を様々な機会を通じて市内外へ発信することで、本市の認知度やイメージの向上、本市に対する愛着や誇りの醸成を図ってまいりたいと考えております。

その他、飲食店支援の一環といたしまして、本年4月から、外出を控えている方でも利用しやすいテイクアウトやデリバリーに対応している店舗を紹介し、積極的にご利用いただくことで、市内の飲食店を応援する「#食べよう八千代」キャンペーンを実施しております。

これに関連し、市内飲食店などが中心となる団体が主催する、今食べたつもりで飲食店を応援し、感染症が収束してきたら美味しく楽しんでいただくことを目的とした「たべちケ！八千代」プロジェクトを後援し、周知・広報の面などで協力しております。

なお、昨年度末に作成しました、八千代ふるさと親子まつふ、昨年の台風被害を受けた新川千本桜の復活を目指したクラウドファンディングのチラシを配布しておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

以上簡単ではございますが、商業、工業、観光の説明とさせていただきます。

飯田会長

今の説明の中でご質問等ありますでしょうか。

浅野委員

今の説明の中で、「新川千本桜」のリーフレットがありますが、これについて私は知らなかったのですが、どのように周知していたのでしょうか。周知方法と現在まで集まった金額を教えてくださいませんか。

事務局（渡邊課長）

直接の担当ではございませんので正確な数値は把握しておりませんが、周知につきましては、広報やホームページで周知しています。40万円程度と聞いております。

浅野委員

今、資金を集めるのに、返礼品がもらえる、ふるさと納税がありますが、そのようなものでしょうか。「ふるさとチョイス」など。私は、八千代市民なので何ももらえませんが。クラウドファンディングとして集める場合もありますね。

事務局（渡邊課長）

こちらは、返礼品のないふるさと納税となっています。返礼品はありませんが、八千代市民の皆様にも利用していただけます。本市のふるさと納税は、「ふるさとチョイス」のほかに、「さとふる」にも委託しており、千本桜は「さとふる」を利用したクラウドファンディングとなっております。

浅野委員

また、中小企業者等経営支援金は、当初、国や県と同様、売上減少率が前年同月比50%超であることが要件だったと思いますが、いつの間にか20%になっていました。今回のチラシにも反映されていますが、いつから20%に要件が緩和されたのか、そもそも市内に事業者がいくつあるのか、把握されていれば教えていただければと思います。また、以前の私同様、要件が緩和されたことを知らない事業者もまだいると思いますので、更なる周知をお願いしたいです。

事務局（渡邊課長）

本制度につきましては、5月28日から施行され、その段階では、10万円を、

前年同月比で 50%以上売上が減少した事業者に対して支給する制度で、経済センサスの統計データによる中小事業者の 5,369 事業者の内 55%を対象として見積もっていました。

その後 6 月 1 日に金額を 15 万円に増額し、6 月 15 日にオンラインによる申請受付を開始いたしました。

更に 7 月 1 日から、それまで 8 月 31 日までとされていた申請期限を 9 月 30 日までに延長するとともに、売上減少率を 20%に緩和することとしました。

今後は、議会の承認の上、本制度の申請期限を 10 月 31 日まで延長する予定です。これは、11 月から開始予定のキャッシュレス決済による支援制度までの期間まで、支援の切れ目がないようにとの考えでございます

制度の周知につきましては、市ホームページや広報等で周知しておりますが、更なる周知も検討いたします。

田中委員

中小企業者等経営支援金につきましては、商工会議所発行の「商工やちよ」においても周知を図っております。

本来、国の持続化給付金の支援策として、各地のサポート会場で申請支援を行うこととしていましたが、八千代市は会場の確保が出来ず漏れてしまいました。その後、市の委託を受け、八千代商工会議所独自に相談窓口を設置し、国、県、市の給付金や支援金の申請等を中小企業診断士が、雇用調整助成金等の申請等を社会保険労務士がそれぞれ補助する内容になっており、中小企業診断士による相談件数は直近で 210 件程度、社会保険労務士による相談は 30 件程度の実績がございます。

飯田会長

それでは次に、農業について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

事務局（余田課長）

農政課は、農林水産業の振興に関することを所管事務の一つとして行っておりますが、林業、水産業につきましては、申し訳ありませんが実態が把握できていない状況もあることから、農業についてお話いたします。農業におきましては、平成 14 年度から平成 32 年度まで、即ち令和 2 年度末までを期間とする農業振興計画を掲げております。本市の農業を取り巻く状況は、現行の計画策定当初と比べると大きく変化しております。その内容と致しましては、

- ① 人口の増加（3 万人程増加）
- ② 一方で、農業従事者の減少

- ③ 農耕作地の減少
- ④ 農村地域への住宅の進出,
- ⑤ 農産物の出荷量の減少

などが挙げられます。どのくらいの状況になっているのか、現状を十分に理解しながら、新計画の策定にあたっては作業する必要があり、現行の計画が終了する前に、農政課では主に、令和元年度より準備をすすめております。元年度の内容と致しまして、農業振興計画を策定するにあたり、広く関係者の意見を伺うべく、15名で構成する、農業振興計画策定検討委員会を立ち上げました。

次に計画策定のための現状把握に向け、委託業者によりまして基礎調査の一環として、農業関係団体へのヒアリング調査や、市民及び農業者を対象としたアンケート調査などを実施しました。

なお、計画策定検討委員会の委員の皆様には、アンケート調査の調査項目や、調査内容をまとめた基礎調査報告書の案に対してご意見を頂き基礎調査を進めて参りました。

八千代市の農業における基礎調査でわかったことを簡単にお話し致します。2005年と2015年を比較して、経営耕地は10年間で約100ha、東京ドーム約21個分減少し、耕作放棄地は34ha、東京ドーム7個分増加しました。また千葉県と比べると耕作放棄地が早いペースで進んでいる状況です。

農地ですが、水田の整備率は高く、畑は整形に整備された畑が少ないという状況にあります。

普段、農業を行っている人数ですが、2010年調査時は1026人であったものが、2015年には859人まで減少しており、2025年には、574人に減少すると推計されるという結果が出ております。

次に、農産物の出荷先の一つでもございます道の駅についてです。

道の駅における農産物の出荷量は、出荷者の高齢化や他店との競合等を背景に、減少しております。

販売面では、従来の顧客が高齢化・減少すると同時に、都市部の新住民を顧客とできていないため、来客数が減少している状況ではありますが、道の駅の農産物に対する人気はあるようで、コロナ禍の中でも多くの来場者がありました。

八千代市の農業に対する「市民アンケート調査」について説明をさせていただきます。

こちらは、農業と市民の関りの現状やニーズを把握し、施策立案の参考とするため、市民の意見を収集することを目的に令和元年に実施したもので、1500人の市民の方を対象に調査票を送付しました。

結果ですが、市民の7割以上は、農地を保全することを重要とし、特に都市部の住民で農地保全の意識が高いことを表しておりました。自由回答でも、農業へ

の協力的な意見や関心を示す意見が多数あり、市民と農業の接点を増やし、農業を振興する施策が期待される、ということが明らかになりました。

以上が、令和元年度の基礎調査でわかった内容です。

次に令和2年度になりますが、そのまとまった基礎調査結果を基に、本筋でございます第2次農業振興計画策定業務を行っているところでございます。

最初に申し上げましたが、本市の農業を取り巻く状況は、現行の計画策定当初と比べると大きく変化しております。従いまして、それら課題解決に向け方向性を示す必要があります。大変おおまかではございますが、簡単に内容を示しますと、農地については、未整備水田等の整備、畑地の整備、農地集積集約化の推進、農地の保全を挙げ、これらに取り組んでいく必要性を記載する予定です。

担い手に関することとしては、新規就農の推進、法人化の推進、食育による市民の農業理解の促進、計画的な労働力の育成、市民の積極的な農業参画の促進を挙げ、これらの推進や検討について記載していく予定です。

生産振興に関することといたしましては、農業機械導入の支援、環境変化に対応する栽培技術の研究支援、販売先と連携した生産振興が挙げ、これらの支援や検討が必要である旨を記載する予定です。

この他、道の駅に関することを盛り込んだ、流通・販売に関することなどを記載していく予定です。

流通・販売に関することといたしまして、八千代産農産物の差別化、共選化の検討支援、ほ場直売型農業の拡大、ニーズに応えた地産地消の拡大を挙げ、これらの推進や検討など必要である旨を記載する予定です。

令和2年度におきましては2回の農業振興計画策定検討委員会を開き、前述の市の素案に対しご意見を頂き、修正・検討しているところでございます。今後の予定と致しましては、案に対してパブリックコメントを行い広く市民の皆様から意見を伺い、修正した後、3回目の農業振興計画策定検討委員会に提示して、ご意見を頂き、最終調整をし、審議会に諮った上で計画を決定し、令和2年度内で策定する予定でございます。

以上、簡単ではございますが、農業振興・農業政策で重要課題として取り組んでございます、農政課の農業振興計画に関する内容でございます。

飯田会長

はい。ありがとうございます。それではただいまの説明につきまして、何かご質問等がございましたらお願いいたします。はい。どうぞ。

市川委員

秀明大学、市川です。

農業振興計画の中で、観光についての内容が示されませんでした。盛り込まれていないのであれば、盛り込んでいただければと思います。八千代農業交流センターはグリーンツーリズムの拠点という点で非常に重要でありますことから、農業と観光の連携を図っていただければと思います。

また、道の駅の売上げが減少しているとのことですが、対応策はどのようにしているのでしょうか。

事務局（余田課長）

現在の農業振興計画の中では、観光については盛り込まれていません。

道の駅への対応策としては、桜ですとか、他の部局の所管になりますが、「かわまちづくり計画」の中で、船の棧橋を設けて、船で佐倉市との交流をする計画があります。

また、道の駅を野菜販売などの近郊農業を売りにしていくことを計画に盛り込んでいくことを考えています。

市川委員

いちご狩りなどは、多くの人が集められます。

是非、グリーンツーリズムの拡大に力を入れていただきたいと思います。

田中委員

農業人口が減少しているとのことで、外国人労働者等も含めて、その対応策として考えていることをお聞かせください。

事務局（余田課長）

外国人労働者については、計画に特段の記載について考えておりませんが、実施計画の段階で検討していきたいと考えます。また、10月からパブリックコメントを実施して意見の募集をします。宜しければご意見を頂ければと思います。市のホームページからご覧になれます。

その他、国等からの補助金で新規就農者に対してハードルはありますが、支援策があることから、この制度を活用し、さらに広めていき、就農者を少しでも増やしていければと考えております。

土井副会長

確認したいのですが、農業交流センターのいちご園の脇の土地を駐車場地として確保されたとのことでしたが、整備されるのはいつ頃になるのでしょうか。

事務局（余田課長）

金銭的な面もありますことから、確実な時期は申し上げられませんが、できる限り早期の整備を目指していきたいと考えております。予算要望は続けて参ります。

市川委員

補足になりますが、観光インフラにおいて、駐車場及びトイレの整備は喫急の課題です。財政的な部分もあり、難しいとは思いますが、売り上げ増につながりますので危機感を持って一刻も早い整備を期待します。

また、農業交流センターの入場人数が減少しているとのことですが、具体的にどの程度減少しているのか教えてください。

事務局（余田課長）

現在数字が手元になく、お示しすることはできませんので、後程ご連絡いたします。

浅野委員

家畜の窃盗がニュースでも話題になっていますが、八千代市でもそのようなことがあるのですか。

事務局（余田課長）

実際には個々の農家さんで小さな被害等はあるのかもしれませんが、大きな被害が出ている様な情報は市には入ってきていないため、把握しておりません。

飯田会長

高橋委員のところはいかがですか。

高橋委員

ニュースを見ると群馬県のほうの事件のようですが、私のところでは特にありません。畑での盗難は時々聞くことはあります。千葉県でも数年前は子牛や子豚の盗難があったようで、現在、牛などは識別番号を付けていますが、それも絶対ではありません。そもそも盗んだとしても育てることができなければ意味がないと思います。最近、豚の病気やコロナの関係で外国産が入ってこないのが高値になっていることはあります。

あと、重機の盗難もありますので、鍵のつけっぱなしには気を付けています。

飯田会長

有難うございました。

続きまして、議題2「新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う現状について」、につきまして、各委員からご発言頂きたいと思います。では、田中委員から順番にお願いします。

田中委員

商工会議所には5つの部会がありますが、商工会議所で把握している限りでは、やはり飲食業が大きな打撃を受けており、各種給付・支援金や開店時間の縮減、バイト等の削減等で対応しているようですが、酒類の消費がないと、やはり売上の低下が著しいようです。

その外、理容業、フィットネスでも影響を受けています。音楽教室等は、小規模事業者持続化補助金を利用してオンラインを使えるようにしているところもあります。

また、自動車は、輸出が一時落ち込みましたが、中国の回復で少し持ち直しているようです。

食品部会に関しましては、生鮮三品は影響が少ないようです。建設部会は、官公庁の予算の関係で仕事が減っているようです。電気工事に関しても落ち込んでいます。

会議所の対策としましては、市の委託事業として、臨時相談窓口を6月から設けています。今までに、中小企業診断士による各種給付金・補助金の制度説明、申請サポートを302件、社会保険労務士による、雇用調整助成金等の申請サポート等の支援を30件行っています。当初8月までの予定でしたが、家賃支援給付金も始まったこともあり期間を延長して対応しています。

次に、政策金融公庫で行っている「マル経融資」も33件行っており、普通融資についても昨年と比較して増加しています。

次に、飲食店の補助として、フードデリバリーに対して補助をしており、「ロスアンジェルス」という店舗の宅配を例に挙げると156件補助しています。

次に、10%分お得になる「食べチケやちよ」には64店舗が参加しています。今後、国のGo To イートキャンペーンもあるので周知していきたいと思えます。

飯田会長

ありがとうございます。それでは浅野委員。

浅野委員

現在新型コロナウイルス感染症の関係で、工場協議会のあらゆる会議等が開催できない状況になっておりまして、現状が把握できない状況でございますが、自身の運輸業に限ってお話いたしますと、非常に厳しい状況です。そのほか、観光バスが壊滅的で、事業が継続しているのが不思議なぐらいの状況です。4月には、燃料価格が下がったのですが、そもそも仕事が無かったので恩恵がありませんでした。こうした状況なので、各種支援金はありがたい限りです。現状は、工業団地の情報が少ないので、今後は各種会議等を、状況を見ながら開催し、情報共有を図りたいと考えております。

飯田会長

ありがとうございます。それでは土井副会長お願いいたします。

土井副会長

農業につきましては、本市では、直売が多いことから影響が少なく、コロナの影響で輸入がなかったことから安定していました。米については、学校給食がなくなり外食も減ったことから米の在庫が多く、昨年と比較して価格が安くなっています。

飯田会長

ありがとうございます。高橋委員お願いします。

高橋委員

私からは酪農についてお話いたしますけれども、3月から5月末にかけて学校給食に提供していた牛乳の在庫余りがありましたが、酪農団体が、いち早く国から給食中止に見合う補償の支援を取り付けてくれました。4月からは、生産が増える時期なのですが、バターなどの加工用に回す割合を増やして在庫を減らしました。現在抱えている問題としては、優先度が低いため、飼料用の牧草が輸入できず、飼料価格が高騰していることです。

肉については、乳牛は今まで通りですが、和牛は価格が安くなっており和牛農家は影響が出ているようです。

畜産はあまり影響がない状況です。

飯田会長

ありがとうございます。それでは市川委員お願いします。

市川委員

はい。観光につきましては、現在危機的状況です。訪日外国人数も 99.9%減が続いており、この訪日外国人数は回復するのにも 2~3 年以上はかかると思います。交通機関や旅行会社も大変な打撃を受けており、特に対面形式の旅行会社はほとんど顧客がいない状況です。

ひとつ救いなのは、東京オリンピック・パラリンピックの来年度開催が前向きに検討されていることです。ただし、完全にこれが中止することになれば、旅行会社等のほとんどが倒産するのではないかと危惧しております。今後、東京オリパラが潮目となり、ウィズコロナの観光になるのではないかと、賛否両論あるものの、「Go To キャンペーン」等の支援策は非常にありがたいものだと思います。

今後は、近場のマイクロツーリズム、マイカーツーリズムが伸びるのではないのでしょうか。アウトドアなど八千代市にとっては追い風だと考えています。国内の、特に都市型の日帰り観光として八千代の観光を推進していくと良いのではないかと思います。

飯田会長

ありがとうございます。それでは橋山委員お願いいたします。

橋山委員

私は市民委員として本審議会に参加しておりますが、私自身がお世話になっている人材派遣ビジネスという観点からお話しさせていただきます。

最近の報道によると、6 万人の解雇や雇止めがあり、内訳をみると非正規と正規が半々となっているようです。企業では、雇用調整助成金などを使って凌いでいますが、9 月更新の山がきて、9 月以降は雇止めが増えるのではないのでしょうか。2011 年を超える厳しさになるのではと考えています。

市民目線といたしましては、雇用を守ることが大切だと考えています。

飯田会長

ありがとうございました。

次に、高橋委員にお聞きしますが、以前、バター不足がニュースになっていましたが今はどうなのですか。

高橋委員

最近は違うと思いますが、家庭用バターはメーカーも作りたがらない。最近は飲食店の休業により業務用が余っています。

橋山委員

私が住む上高野地区にも、新しく物流センターができましたが、今後も増えていくと考えます。そうした状況の中で、浅野委員にお尋ねしたいのですが、工業団地の物流倉庫が増える情報はあるのでしょうか。

浅野委員

最近の情勢については、会議等が開催できず、把握できていないのですが、現在、上高野工業団地以外は工業専用地域ではないため、空いた土地に住宅が入ってきてしまうことがあります。上高野工業団地はその点、工業専用地域があるので立地しやすいようです。

飯田会長

ありがとうございます。

実際、工業団地の土地は高騰していて、売りに出たとしても直ぐに買い手がつく状況です。

浅野委員

私の会社は、運送ですが、工業団地の送迎バスの会社は、密を避けるために増便しているようです。観光バスは厳しいようですが。

市川委員

以前は、インバウンド増によりバスの価格が高騰していたのですが、現在は稼働率の関係で低い状況です。

団体旅行が少ない現在、「Go to キャンペーン」も難しいと考えています。

飯田会長

ありがとうございます。

その他にも、最近では、在宅勤務が増えた関係で緑が丘地地域の賃貸需要が伸びています。

他にご質問はありませんか。

続きまして、議題3「次期産業振興ビジョン」について、事務局から説明をお願いします。

事務局（佐藤主査）

私から、次期産業振興ビジョンについてご説明をさせていただきます。昨年、11月29日に開催されました、令和元年度第1回審議会では、各産業に共通する課題

として、高齢化や後継者問題が顕在化したことに伴い、地域の変化や産業の課題解決のために、農業者と商工業者とのコミュニケーションを活発化し、また、それぞれが持つ資源を、観光と結びつけ、更なる相乗効果が得られるように、「農商工観連携」という新たなビジネスモデルを構築することによる産業振興を図ることが望ましいという方向性が示されました。

その後、本年3月に予定していました第二回審議会は、新型コロナウイルス感染症拡大により開催中止となってしまいましたが、審議会で示されたものを具体化していくために、次期産業振興ビジョンの基本方針を策定し、委員の皆様、基本方針を配付させて頂いたところでございます。

計画では、今年度中に次期産業振興ビジョンを策定する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、経済活動の制約が長期化し、観光を取り巻く環境の変化、商工業を中心に影響が大きく広がる中、足元の対策に集中して取り組む必要があり、事務局といたしましては、今年度中の策定ではなく、令和3年度までの2年間をかけて、次期産業振興ビジョンを策定いたしたいと考えております。事務局からの説明は以上になります。

飯田会長

ありがとうございました。ただ今の説明にご意見等はございませんか。

質疑等がないようですので、続きまして、次第3「その他」として、何かございますか。

特にないようですので事務局から何かありますか。

事務局（佐藤主査）

今回の審議会ですが、現在のところ、開催日は決めていませんが、コロナウイルスの状況を見極めながら開催をしたいと考えております。追って連絡をさせて頂きますのでよろしくお願いいたします。以上です。

飯田会長

その他、ありませんか。

事務局（石川部長）

私から、ひとことご挨拶をさせていただきます。

本日は、お忙しい中、産業振興審議会にご出席頂き有難うございました。

ご承知のとおり、当審議会委員の任期は、来月31日をもちまして満了となります。現在、各団体に改めて委員の推薦を依頼すると共に、来月上旬には選考委員による市民委員の選考を行う予定であります。

従いまして、現委員での審議会は、今回で最後となります。

委員の皆様におかれましては、任期中に各産業の代表として、また、市民の代表として貴重なご意見を賜り誠に有難うございました。

今後も、本市の産業振興にご協力を賜りますようお願い申し上げ、市を代表いたしまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。どうも、有難うございました。

飯田会長

有難うございました。

それでは、以上をもちまして、令和2年度第1回 産業振興審議会を終了いたします。

————— 閉 会 —————